

公民連携推進全国首長フォーラム勉強会を開催

令和4年10月11日（月）にオンラインにて、公民連携推進全国首長フォーラム会員を対象に勉強会を開催いたしました。全国から約70名の皆様にご参加をいただき、盛会のうちに終わることができました。

1 開会挨拶

野田義和会長（東大阪市長）より、「首長が公民連携の研究・研鑽を行える場として、本日の勉強会をご活用いただきたい」と挨拶がありました。

今回の勉強会では、日本で初めて下水道事業のコンセッション方式を導入した浜松市の事例と東大阪市で実証実験中のAIを活用した自治体相談業務支援サービスの事例について講演を行いました。



2 公民連携の取組み

2 「浜松市下水道事業におけるコンセッション方式について」

浜松市長 鈴木康友 氏

浜松市 鈴木市長より、下水道事業におけるコンセッション方式の概要や効果、導入に至った経緯等についてご説明いただきました。



浜松ウォーターシンフォニー株式会社 代表取締役 内野一尋 氏

浜松ウォーターシンフォニー株式会社 内野代表取締役より、コンセッション方式の契約スキーム、コンセッション方式だからこそ実現できた事例等についてご説明いただきました。



3

公民連携の取組み

「AIを活用した自治体相談業務支援サービス（AI相談パートナー）」

東大阪市 行政管理部情報政策室長
田中 孝明 氏

東大阪市 田中情報政策室長より、株式会社アイネス、株式会社三菱総合研究所と実施するAIを活用した住民相談支援の実証の取り組み概要や東大阪市における自治体DXの取り組み等について説明がありました。

株式会社アイネス
自治体DXソリューション部
シニアコンサルタント 宮崎 昌美 氏

株式会社アイネス 宮崎シニアコンサルタントより、AIを活用した自治体相談業務支援サービス「AI相談パートナー」の機能、効果、東大阪市との実証実験の内容などについて説明いただきました。



4

終わりに

今回の勉強会では、2つのテーマについて、自治体と民間事業者それぞれの視点でご講演いただき、講演後には質疑応答も行いました。

関わっていただいた皆様に感謝をお伝えして、開催報告とさせていただきます。

